

認知症作業療法 活動報告（概要）

愛知県作業療法士会では、アップデート研修受講修了者の量の担保として、受講者特典で参加可能なステップアップ研修という独自の研修を企画し、H30年1月に小川敬之先生をお招きして開催しました。ステップアップ研修ではGPの書き方紹介と各分野の事例紹介も織り込み、今後各地域で作業療法士が求められた際に研修修了者の情報を開示できるよう、マップを作成中。また今年度のアップデート研修は8月と10月に開催しています。講師が内容をアレンジし、かみ砕いた話ができただけで、研修アンケートによる満足度は過去と比較し、好評を得ました。

地域包括ケア事業

国立長寿医療研究センターより地域包括ケア相談体制整備事業の研修会にて、作業療法士会へ「認知症予防」についての講演で依頼がありました。県内の在宅医療・介護連携に関わる関係者を対象に、全6回シリーズで介護予防や生活習慣病予防・低栄養予防・肺炎予防といったサブテーマを各専門職が分担して講義しましたが、主催者側からは好評価をいただき、終了後もたくさんの方からお声かけいただき、OTに対する期待値の高さが伺えました。

普及啓発事業

《ウェルフェア》

H30年5月、医療・福祉・ヘルスケア産業の振興と商取引の拡大、並びに地域住民の福祉・健康の増進を目的として開催されるウェルフェアにて県士会からの委託を受け3日間、作業療法の普及啓発・県士会の活動紹介、参加者へ簡易認知症検査などのブースを設置した。

《中日新聞主催 就職説明会》

H30年9月、毎年行われている有資格者対象のお仕事フェアにて「知っておきたい！認知症の方の理解と寄り添い方」をテーマに講演依頼があり、通常であれば20～30名の規模に、今回は50名を超え立ち見の方もいらっしゃいました。講演後の個別相談もあり、作業療法の対応にとっても関心を持っていただけました。



《RUN伴》

今年のRUN伴は2地区に分かれ各地域での開催となりました。今年度から愛知県士会の参画も図りましたが、様々な都合上、来年度以降の参加で話が進み、各地においてそれぞれの参加と外出のきっかけになればと思っています。



今後の展開

- ・県士会として委託事業が成り立つよう、情報の集約と人材バンクシステムの構築を進めていく。
- ・アップデート研修の継続開催とステップアップ研修の実施